胸部　頭部ニ次ギテ同ジク黄白色正楕圓形ヲナス背面ニ一箇ノ短黒縦線ヲ有ス一面ニ粉状ノ密毛ヲ有シ宛然裸出セル如シ後方ニ至ツテ漸々ニ下ル**胸板**ハ黄白色強キ光澤ヲ有シ無毛長楕圓形ナリ肢ハ黄白色白毛ヲ密生シ基節及第七節ヲ除キテノ外ハ黒キ長剛毛ヲ刺ノ如ク數本粗生ス第一對ノ肢ノ腿節ハ短カシ長サ凡ソ第一對ハ一分八厘第二對ハ二分五厘第三對ハ二分第四對ハ二分七厘許アリ爪ハ黒色二個ヲ有ス。

腹部　大ニシテ同ジク黄白色ヤヽ長倒卵形ヲナス全體白色毛ヲ密生シ腹ノ半下面ハ殊ニ密生ス模様トテハナケレドモ背面前方ニヤヽ濃色ノ判明セザル太キ縦線ヲ有シ半バマデ至ラズシテ消ユ凡一分二厘幅凡ソ五厘ヲ算ス**紡績器**ハ六箇内四箇ハ大ニシテ四隅ニ出シ小二個ハ中央ニ隱レテ外ヨリ見エズ黄白色ニシテ全體白キ密毛ヲ有シ大ニシテ凡ソ長サ二厘幅八毛ヲ算シ外面ヨリ腹部ノ外ニ突出シタレバ能ク見ユ。

明治四十二年十二月一日攝津國西成郡十三村ノ土中産ニヨル尚ほニヨリテ検定記載シタリ。

「バラオ島の蜘蛛二種に就て」の記事訂正

植　村　利　夫

予は本誌 Vol. 1. No. 4. pp. 146–147 に「バラオ島の蜘蛛二種に就て」と題して高橋敬三氏採集の *Argiope reticulata* と *Leucauge sp.* に就て發表しておいたが，其の中後者の習性に就て

「高橋氏のお話では此の蜘蛛は向ふでは家の中へ侵入して來て書棚の間等へ澤山糸を張り廻して困るさうで，これはコガネグモ屬の種類としては寧ろ不思議な習性である。」

と述べた部分がある。所が其の後高橋氏の御注意を受けてまことに申譯ないことをしたと思つた次第であるが，これは全く予の聞違ひで，此の蜘蛛は全然この様な習性なく次に記す話と混同してゐたものであつたことが解つたからこゝに訂正して採集者高橋氏並に讀者諸氏にお詫びする。次の話とは即ち次の通りである。

本の背表紙とか本の間とかに入つて來て巢を造るのは（内地でも見られるものと同種か否かは解らぬが）彼の有名な蜘蛛狩をする寄生蜂の一種で，前記の様な場所に泥の巢を營み其の中に *Leucauge sp.* を澤山入れてゐるのである。其の一つの泥の巢の中には蜘蛛が五六匹入れられており，調査した結果蜘蛛は巢の中では半殺しの狀態にされてゐたとの事である。

不可解と思つてゐた *Leucauge sp.* の習性の記事が誤りであつたことが解つたと同時に又寄生蜂に就ての新しい事實を知ることが出來て非常に嬉しく思ふ。高橋敬三氏に深謝の意を表する。（昭和十二年三月十日記）